

「指差し作業員」がアートを超えるアートとして問うていること

斎藤環が「"フクシマ"、あるいは被災した時間(第5回)」(『新潮』12.2)の中の「アートにおけるブリコラージュ」の細節で、竹内公太についてこう書いていた。

《2011年8月28日、午前10時頃、福島第一原発の「ふくいちライブカメラ」に原発作業員が現れ、カメラを正面から指さして何かを訴えかけるかのような映像が話題となった。防護服姿のまま、20分以上カメラに向かって指を差す謎の行動は、さまざまな憶測を呼んで世間を騒がせた。

内部告発か潜入記者か、はたまたテロリストのしわざか。ほかにも心霊現象、江頭2:50、放射能払いの儀式、未来人か宇宙人の警告など諸説入り乱れたが、東電による記者会見でも真相は明かされなかった。》

榎木野衣と宇川直宏との対談「震災後に芸術を定義し直す(第一部)」(『新潮』12.1)で、《この作業員の正体がアーティスト竹内公太によるパフォーマンスであったこと》が明かされ、竹内自身も《自身のブログで「ふくいちライブカメラを指さしたのは私です」と明言し、そのパフォーマンスの意図》がこう説明されている。

〈8月28日、休日であった私は勤務先、東京電力福島第一原子力発電所へ行き、ふくいちライブカメラに対し指をさすという行為をいたしました。／カメラの存在に関しては会社に面接を申し込む以前から知っており、その位置などはインターネットや免震棟内の掲示物の情報で概ね把握しておりました。／当日は線量計を持ちマスクと防護服を着用した上で、スマートフォンでライブカメラの配信を見ながら接近し、当該行為を起こしました。／私が指さした対象は、カメラを設置した東京電力さん及び政府へであり、ライブ配信や後に動画をモニタで見る方々、またスマートフォンを通して見る自分自身へでもあります〉

そして、「東京電力さん、及び政府の方を指さした意図と要望」について、

〈東京電力さん及び政府の方々におかれましては、下請け会社への業務委託、全ての作業員の雇用状況の把握について現状の具体的な是正を望みます。／既に多く報道されております通り、原発で働く人の中にはアウトローな領域とされる方々により手配された、止むに止まれぬ事情の方々が少なからずおられ、不当あるいは厳しい雇用条件の元、それを元請けに偽装しながら働いておられるという問題話があります。／ハローワークに求人を出している会社でさえ、労働者の本当の契約先の実在を元請け会社が知らないということもあります聞きます。／過度な多重下請けは低賃金や保険未加入、あるいは契約書を書いてもらえないといった待遇の問題として現れることは報道されるとおりだと思います。／加えまして瑣末ながら私の体験した事例を申し上げます。

私は滞在先の旅館において、同室のメンバーの勤務時間が昼夜バラバラだったこともあり、深夜勤務の予定があるにも関わらず日中なかなか寝付けない日が何日かありました。／作業員は作業前に必ずその日の健康状態を規定の用紙に記入し提出します。私は正直に4時間と書きましたが、目を離した隙に先輩に6時間と書き換えられました。／健康管理のできない作業員がいては会社の体裁上まずいという判断の上でのことかと思います。／また、現場で仕事をする時間が規定のものであっても、新人の面倒や諸手続きを作業員が兼任し膨大な雑務に追われ1,2時間という少ない睡眠時間で仕事にいたり車を運転するという事例もあります。／下請け企業が仕事を得るために競争すること、また少々の無理をしてもアピールすることで元請け会社は低コストで高効率の仕事が得られますが、その構造の性質上小さな無理や弊害は上に報告されません。／随所でしわ寄せられるいくつかの弊害は非常時においていくつか重大な事故につながりかねないと危惧しています。

仮にこうした問題を会見で指摘されても東京電力さんとしては「調査します。」あるいは「そういうことのないよう協力会社にはお願いします。」としか言いようがないかもしれません。／そしてたいした報告は上がってこないでしょう。／多重に業務を委託した分だけ、都合の悪い部分を隠した報告が上がるのです。／こうした状況は正直に報告しない下請けばかりが悪いのではありません。／私は作業員個人や一協力会社に責任を問えば無くなる話だとは思えません。／締め付けを厳しくしても、安全対策にはつながりません。これは私たちがJR福知山線の脱線事故から学ばなければならないこ

とです。／弱い立場に対しては、仕事のための無理を隠さねばならない厳しさから解放すべきです。／多くの人のためにこの大事故を収束させねばならないという使命感だけでも大変ですから、下請けへ会社の社員には低待遇や雇用不安をプレッシャーとして課してはならないと思います。

私はこの問題は雇用のシステム全体の問題として包括的に解決にあたるべきと考えております。／全員まとめて東京電力さんで雇いあげて欲しいところですが、どうしても無理だというなら、せめて全作業員の契約状況を書面で完全に把握してはいかがでしょうか（私は契約書は交わしていませんでした）。／そこに適正な賃金と保険が保障されているか。／そしてゆとりある待機人員の確保がなされているか作業シフトと人数と休日を把握してはいかがでしょうか。／本来協力会社に業務を委託するのは自社でできない専門性の高い業務を任せるためであり、管理業務を投げて責任から逃れるためではなかろうかと存じます。／事故は未だ予断は許さぬものの想定しうる最大限の危機を辛うじて免れている状態と理解しております。／管理業務や労働者のケアの不徹底が招くヒューマンエラーを防ぐことはこうした事故現場においては大事だと思います。

現場には全国から届けられた子供に書かせた寄せ書きの応援メッセージが、色紙や旗が、FAX やメールのコピーが、千羽鶴が、たくさん飾られています。／そうしたたくさんの声が「残酷な自己犠牲を強いる声」になってしまわぬよう、是非とも考えて欲しいところです。／また私の行為が誰にも咎められずに済んでしまった事実は例えば現状に不満を持つ者が現場に入り何か仕掛けたけばいくらかでも方法があることを示しています。／この点ばかりはどれだけセキュリティを強化しても厳しく締め上げて同じでしょう。／そうした不満など出ないまともな雇用環境を正す方がはるかに対策として妥当かと存じます。／マスメディアの皆さんには、私個人的には原発の労働状況については引き続き取材、質問していただきたい点です。)

「ライブカメラを通してモニタの前の方々を指さした意図」として、

〈観察するという方向→に←指差すという反対の方向を向けたいと思いました。／言葉を「下層労働者」から「英雄」「作業員さん」に替えただけで、作業員の方々を"私たちとは違う特別な対象"にしてる点で変わらないよね、ということを描きたいと思いました。／これはメディアを介して観ることが避けられないことだと思います。)

また「スマートフォンを用いて自分を指さした意図」については、

〈観察する云々偉そうなこと言ってるけど、お前も観てるだろうと、自分だけ蚊帳の外にいられないだろうとも思いました。／またこの行為は自己愛に支えられる自己犠牲のようなものを含み、それは社会危機に際して安易に肯定すべきものではありません。／報道を見て生じる心のもやもやの解消は通常は選挙による政治参加が順番だと思います。／短期間原発で働くという私の行動はスラックティビスト（斎藤註：自己満足的な奉仕活動）的であるとして監視して批判しなければならないと考えていました。)

〈以上指差しの意図について概ねの説明になります、がその実効性については不完全であることは否めません。／何人か指摘される方もいましたが、この行為はヴィト・アコンチの<<centers>>をインターネットと原発という状況で真似たものです。／しかし意図のわかりづらい私の行動が陰謀論やオカルト趣味の増長に寄与してしまった感があります。／テレビ番組でホラー映画のような BGM がついたり、ネット上にここまで非現実的な捉え方の意見が横行するとは予想外でした。／そうした現状に疑問や危険性を感じておられる方々に対しまして、結果的にそれを助長してしまったことについては申し訳なく思います。／ただ情報が少ない、現場の様子や声がわからない、議論もできないことが、こうした状況の一因でもあると思います。／メディアの方々には免震棟で作業員の方々を取材する番組を作って欲しいと思います。東京電力さんも協力して欲しいと思います。／彼らが英雄であるならばモザイクは必要ないでしょう。／そういうことが当たり前になれば、「指差し作業員」に対しては大スクープやオカルティックなハプニングを期待するコメントではなく、いち社会人として会社や多くの方に迷惑をかけることについての当たり前の批判と罵倒のコメントがもっと溢れるでしょう。／そうした健全な日常が戻ることを願います。〉〈重ねて申しあげます。今回の件に関しまして私と所属会社との間には何の共有もありません。／私のような者が紛れ込んでしまうことについて会社は防ぎようがなくその責任は問えるものではありません。／東京電力さん並びに元請け会社さんには、私の所属した会社に対しては、いかなる制裁も加えなさいませぬようお願い申しあげます。)